

第1学年 年間学習指導計画作成資料 (2024. 3. 8)

株式会社 教育芸術社

【本資料について】

- ・本資料は、弊社発行の令和6年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽1～6〈104～604〉」に基づいて作成しています。

【「題材の目標」について】

- ・各学年の題材の目標は、学習指導要領（平成29年告示）に示されている、育成を目指す資質・能力の三つの柱、

(1) 「知識及び技能」の習得に関する目標

(2) 「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標

(3) 「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する目標

の視点に基づいて作成しています。

(1) について、文章の前半では表現及び鑑賞の知識に対応する内容を、後半では表現の技能に対応する内容を示しています。

【「扱い月の目安」について】

- ・本資料で示されている扱いは目安となります。3学期制と2学期制それぞれ示しておりますので、各校の実態に応じて、指導される学期や月を調整のうえ、ご活用ください。

【「扱い時数」について】

- ・教育課程で標準とされる授業時数に即し、各題材や「みんなで楽しく」などの巻頭・巻末教材も含めたかたちで、扱い時数を設定しています（中学年は巻頭・巻末教材を除く）。
- ・巻末教材に配当された時数については、巻末教材を本文中の題材と関連付けて取り上げる場合や、授業時数に調整の必要が生じた場合などにおいて、扱い時数を調整するためにご活用ください。
- ・国歌「君が代」につきましては、『国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるよう指導すること。』と示された学習指導要領の趣旨にしたがい、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

【「学習指導要領の内容との関連」について】

- ・弊社発行の「小学生の音楽」教科書の題材構成において、各題材は、「何を中心に学習し、どのような子供の資質・能力を育てるのか（＝どのような観点で評価するのか）」という目標にそって教材を配列しています。
- ・「A表現」(1)歌唱、(2)器楽、(3)音楽づくりのA、イ、ウの各事項、「B鑑賞」のA、イの指導事項は、各題材内の中で〔共通事項〕を要として教材どうしがつながり、ときに往還し関連しながら、指導できるように配慮しています。
- ・学期ごとや1年間を通して、各観点がバランスよく位置付けられ、題材間の関連が図られているか、という視点にも配慮しています。
- ・それらを踏まえ、【評価に関わる】指導事項を◎で記し、それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を○で記しています。
- ・〔共通事項〕に示している音楽を形づくっている要素において**太字**で記しているものは、題材内で中心となる要素を示しています。

第1学年 年間学習指導計画作成資料

学習指導要領の内容との関連（ア：思考力、判断力、表現力等 イ：知識 ウ：技能 に関する資質・能力）

【第1学年及び第2学年 目標】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

| 抜きの 月 の 目 安 | 抜きの 時 数 合 計 | 題材名 | 題材の目標 (1)「知識及び技能」の習得 (2)「思考力、判断力、表現力等」の育成 (3)「学びに向かう力、人間性等」の涵養 | 学習目標 | 教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材 | 歌唱 | | | 器楽 | | | 音楽づくり | | | 鑑賞 | | 【共通事項】 | | | |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------------|---|-----------------------------------|---|----|---|---|----|---|---|-------|---|---|----|---|--------|-----|-----|-----|
| | | | | | | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | ウ | ア | イ | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | (ア) | (イ) | (ウ) |
| 4 | 4 | 1. うたって おどって なかよく なるう | (1) 曲想と旋律や拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) リズム、速度、旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 音楽を聴いて体を動かしたり声を合わせたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に音楽に親しむ態度を養う。 | (導入) きいて うごこう | ♪どみそらんど | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | (導入) うたって なかよく なるう | (歌探し) | ○ | ◎ | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | ・ともだちと いっしょに おどりましょう。 | ♪セブン ステップス | | | | | | | | | | | | | ◎ | ○ | |
| | | | | | ♪チェッ チェッ コリ (参考曲) | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | |
| 5 | 5 | 2. はくを かんじとろう | (1) 曲想と拍などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能、音色に気を付けて打楽器を演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色、リズム、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 拍やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に音楽に親しむ態度を養う。 | (そだてよう)おとで おはなし | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| | | | | (そだてよう)手拍子で リレー | | | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | | |
| | | | | ・おんがくに あわせて からだを うごかしましょう。 | ♪さんぼ | | | | | | | | | | | | ◎ | ◎ | | |
| | | | | ・[たん たん たん (うん)] の リズムで あそびましょう。 | ◇○じゃんけんぽん | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | | | | | |
| 6 | 6 | 3. はくに のって リズムを うとう | (1) 曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わり、リズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、器楽の技能、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) リズム、拍、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかや、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 拍やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、いろいろなリズムに親しむ。 | ・おんがくに あわせて リズムを うちながら ききましょう。 | ♪しろくまの ジェンカ | | | | | | | | | | | ◎ | ◎ | | | |
| | | | | ・はくに のって、 あかるい こえで うたいましょう。 | (共)かたつむり | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | | | | | |
| | | | | ・たん と たたの ちがいに きづいて リズムを うちましょう。 | ◇○ぶん ぶん ぶん | | ○ | ○ | | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | | | | | |
| | | | | ・たん と たたを つかって ことばで リズムを つくりましょう。 | ☆ことばで リズム | | | | | | | | | | | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |
| 7 | 7 | 4. みの まわりの おとに みみを すまそう | (1) 身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 音色、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声遊びを通して、音楽づくりの発想を得る。 (3) 身の回りの音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組み、身の回りの音への意識を高める態度を養う。 | ・うみの ようすを おもいうかべながら うたいましょう。 | (共)う み | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | | | | | | | | | | |
| | | | | ・みつけた おとで よびかけあいましょう。 | ☆おとを さがして あそぼう | | | | | | | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | | |

